

2004年3月  
(平成16年)  
No. 22

# Amizade

アミザーデ

～姉妹都市協会ニュース～

発行 中津川市姉妹都市友好推進協会  
岐阜県中津川市かやの木町2番1号  
中津川市役所 広報広聴課  
〒508-8501 0573-66-1111

## 姉妹都市提携23年・岐阜県入植90周年 姉妹都市友好親善訪問団がブラジルを訪問



上：レジストロ市役所前の歓迎セレモニー 下：レジストロ市移民資料館にて



サンパウロ市で開催されたブラジル岐阜県人会創立65周年記念式典に参加。岐阜県からは梶原知事も出席。山田彦次ブラジル県人会会長に中津川市特別荣誉市民章を中川市長が授与するとともに祝辞を述べました。

### 名誉市民章贈られる

2003年10月27日、レジストロ市の歓迎式典において、両市の姉妹都市友好に尽力された、中川市長にレジストロ市議長からレジストロ市名誉市民章が贈られました。



### 中津川中ロータリークラブから寄付金

2003年5月22日中津川中ロータリークラブの幸脇利幸氏と小倉忠雄氏が中津川市役所を訪れ、姉妹都市友好推進事業にと寄付金20万円をくださいました。

この寄付金は、中津川市姉妹都市友好推進協会が10月末に実施するブラジル訪問事業に使われることになり、姉妹都市であるレジストロ市の養護老人ホームの大型洗濯機購入費の一部に充てられました。ありがとうございました。



レジストロ市歓迎夕食会において、日伯文化協会の和太鼓部チームによる太鼓の演奏。



障害児施設「APAE」でクッキーをつくる「仲間たち」。いきいきと目を輝かせていました。



レジストロ市から車で1時間のところにあるカヴェルナ・ド・ジアボの鍾乳洞は、南米大陸の雄大さを思わせるのに十分な自然の産物でした。



「ブラジル国鳥」トッカーノ

27日は、午前中にレジストロ市長を敬訪問し、その後日伯文化協会会館等の竣工式に出席し、市長、友好協会会長で記念植樹を行いました。同日夜、歓迎夕食会があり、席上、那須野秀男氏に中津川市特別荣誉市民章を授与しました。またレジストロ市議長から中川市長にレジストロ市名誉市民章が贈呈されました。続いて、中津川市姉妹都市友好推進協会から日伯文化協会に会館建設助成金として15,000\$を贈呈しました。28日は、中津川市とレジストロ市から市長、議長、友好協会会長ほか参加して、これからの姉妹都市の進む道などについて検討しました。9時からは障害児施設、養護老人ホーム、移民資料館などの見学を行いました。その後、中津川市主催の答礼昼食会を行い、レジストロ市を後にしました。

# ブラジル訪問記

# 姉妹都市友好親善訪問団



レジストロ市章



レジストロ日伯文化協会会館等の竣工式を祝って記念碑の除幕を行いました。



レジストロ市歓迎夕食会の席上、中川市長夫人から浴衣を贈られ、さっそく袖に手を通したサンドラモレイラ市長夫人。



モレイラ市長から記念品を受ける中川市長



レジストロ市役所前で多数の児童、一般市民によって出迎えられました。9才から11才までの120人の児童がブラジル各地方のダンスを披露してくれました。



日伯文化協会会館、高齢者活動センター、市立保育園の竣工式は、小雨が降る中ミゲル神父のお祈りで始まりました。



日伯文化協会会館等の竣工を記念して会館の中庭に植樹を行いました。

## ブラジル訪問記

2003年10月21日から10月28日までの8日間、中川市長、鈴木姉妹都市友好推進協会会長を代表とする親善訪問団19人がブラジルを始め、南米各国を訪問しました。2003年度は、岐阜県人ブラジル移住90周年及びブラジル岐阜県人会65周年の節目の年であり、それぞれの式典に参加するなど、これまでの友好親善の絆をより確かなものとしてきました。

10月21日に名古屋空港を出発し、23日から24日は、アルゼンチン、パラグアイの両国を訪れ、25日にサンパウロに入り、26日は、日本人移住先没者慰霊碑を参拝し、献花を行ったあと、引き続き岐阜県人ブラジル移住90周年記念式典に参加しました。席上、ブラジル県人会会長山田彦次氏に中津川市特別荣誉市民章を、ブラジル県人会に平野和男氏画「恵那山」と祝金2,000\$を贈呈しました。午後専用車で姉妹都市であるレジストロ市に移動し、夜からはレジストロ・ロータリークラブ合同例会に出席しました。

**アマゾンナイト鉱物博物館に**

3月22日中津川ライオンズクラブ（宮崎力会長）から、クラブ結成40周年を記念し、社会貢献・教育環境整備事業の一環として、苗木地区にある中津川市鉱物博物館へ鉱物標本「アマゾンナイト（日本名天河石）」を寄付していただきました。

標本は、ブラジルで採掘された岩石で、国内はもとより世界的にも貴重な第一級のすぐれた標本です。その鉱物の魅力、不思議さから、鉱物博物館を訪れた市民の皆さんの話題を呼んでいます。



**国際交流委員 清水さん来市**

県国際交流センターで国際交流委員として、勤務されている清水リーナ晴美さん（ブラジル・レジストロ市出身）と土井セリーナ弘美（ブラジル・サンパウロ市出身）さんが8月13日、当市を訪れました。清水さんは、姉妹都市

提携20周年の際にもレジストロ市市長の秘書役として、また、2002年8月にも岐阜県青少年団員として当市を訪問されています。

二人は、10月に渡伯する当市訪問団の事前打ち合わせのために来市され、打ち合わせ後、落合の石畳や馬籠を散策し、夜にはおいでん祭の太鼓やみこし、風流おどりを見学されました。

**ブラジルに親しむ会**

文：講座生 酒井源五

ブラジル国レジストロ市と中津川市が1980年に姉妹都市を結んで23年が経ちます。姉妹都市友好推進協会が長年続けてきた催し物にポルトガル語



講座があります。最近では市内の企業に勤めるブラジル日系人の方にお願いで講座の先生になっていただいています。現在の先生の松田さんは、日本人のご両親を持ちレジストロ市の生まれで、子供のころは学校から帰ってから日本語を使い、ポルトガル語とともに大変上手に話されます。10年前から市内の企業に勤務され、講座のほかにも発行しているブラジル人向けのごみの出し方チラシ作りにも携わっています。

さて私たち講座受講生は多人数ではありませんが、毎月第3金曜日の夜に講座を開催しています。ポルトガル語は、響きがよくて気持ちよく、また時々英語によく似た言葉も出てきて、親しみを覚えることがあります。またブラジルが日本人の移住受け入れをはじめて100年の歴史を持ち、最近では日本に多くのブラジル人が働きにきていて、友好的な関係にあります。

人のもつ好奇心は言葉や情報から大きく膨らむようで、広大な大地と、のんびりした人間社会をこの目で確かめようと、受講されている方たちの中にはブラジルを旅した方もいます。5年に1度の相互友好訪問が友好協会のレベルで今日までつづいているところは国内でも稀だそうで、私たちもこの友好関係を理解しながら、講座をつづけて行きたいと思えます。

**ポルトガル語を学びませんか**

自主サークル「ブラジルに親しむ会」ではポルトガル語の受講生を募集しています。

問い合わせ先

ブラジルに親しむ会 小川 琴子

☎(〇五七三) 67-12973



受講者だけで実施したブラジル旅行

**平成16年度会員募集**

中津川市姉妹都市友好推進協会では、ただいま会員を募集しています。会費は左のとおりです。

- 個人 一口 一千元
- 団体 一口 五千元
- 法人 一口 一万元

申込用紙は市役所広報広聴課または各地区のコミュニティセンター、に備えてあります。

多くの皆様のご入会をお待ちしています。

問い合わせ先

中津川市姉妹都市友好推進協会

(中津川市役所広報広聴課内)

☎(〇五七三) 66-1111

内線(304)